

## 第1回 検討市民会議を開催

6月25日、「公共施設のあり方検討市民会議」が発足し、第1回目となる会議において、建築士や行政書士、保育士や公募委員など10人のメンバーが委嘱されました。

会議に先立ち、林市長は「地方分権や国の行財政改革などの影響を受け、地方自治は大きな転換期を迎えている。公共施設のあり方も見直しをせざるを得ない状況になっている」とあいさつ。この後、委員の自己紹介と役員の選出が行われ、委員長に浜一平さん、副委員長に原田裕子さんが選出されました。

公共施設のあり方をテーマとした意見交換では、「財政的な面からの検討が必要ではないか。施設にかかる費用が知りたい」といった意見や「設置の目的が果たされているかが重要。岡谷らしさを残すことも必要」などの意見が出されました。

今後は月1～2回程度の会議を行い、施設に対する理解を深めながら、客観的な判断基準（ものさし）を作る予定です。



あいさつする浜委員長と原田副委員長



会議の様子